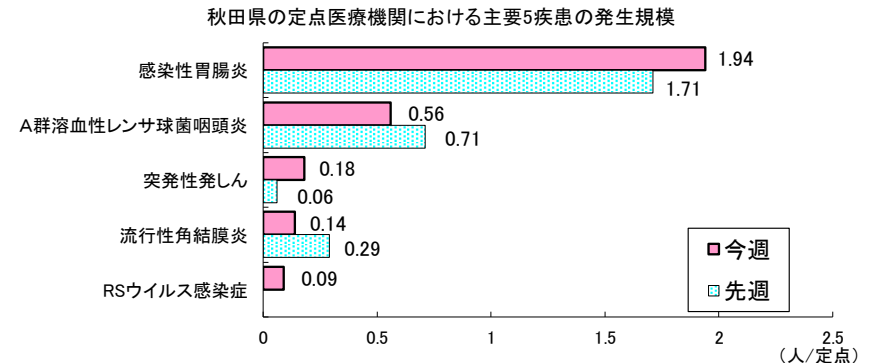




【第12週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、大館、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、北秋田で同規模、秋田市、能代、大仙、横手で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で21%減少しています。保健所別では、能代、秋田中央で増加、秋田市、由利本荘、大仙、湯沢で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で3.0倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田で増加、秋田市、湯沢で同規模となっています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減			
RSウイルス感染症		0.09	↗		0.43	↗																								
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.03	↘	0.29	0.14	↘																								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	0.56	↘	1.14	0.86	↘							0.33	1.00	↗	1.25	1.50	↗	0.75	0.25	↘	1.50	0.75	↘			0.33			
感染性胃腸炎	1.71	1.94	↗	5.57	4.71	↘		0.75	↗	1.00	1.00		0.67	0.33	↘	1.00	1.75	↗		3.25	↗	1.00	0.50	↘	2.33	1.00	↘		0.67	↗
水痘	0.15	0.06	↘	0.29		↘	0.50		↘								0.25	↗	0.25	0.25										
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.06	0.18	↗	0.14	0.14			0.75	↗		0.50	↗															0.33	0.33		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病		0.03	↗																						0.33	↗				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.14	↘	0.33	0.33					*	*		*	*		*	*				1.00		↘				*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.13	0.13														*	*								1.00	1.00				

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から2人、報告されました。
- ・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から2人、大館保健所管内から3人、大仙保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-11週 全国	12週 秋田	12週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	3088	11	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	4		
三類	腸管出血性大腸菌感染症	165		
	腸チフス			
	パラチフス			
	E型肝炎	133		
四類	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	17		
	エキノコックス症	3		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	7		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	(人)		
		1週-11週 全国	12週 秋田	12週 秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	61		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	5		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	3		
	野兔病			
	ライム病	4		
	五類	リッサウイルス感染症		
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症		243	2	1
レプトスピラ症		1		
ロッキー山紅斑熱				
アメーバ赤痢		121	1	
ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)		37		
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		354	3	2
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		4		
急性脳炎		71		
クリプトスポリジウム症		1		
クロイツフェルト・ヤコブ病	31			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	151	1		
後天性免疫不全症候群	183			
ジアルジア症	10			
侵襲性インフルエンザ菌感染症	52	1		
侵襲性髄膜炎菌感染症				
侵襲性肺炎球菌感染症	239	4		
水痘(入院例に限る)	53	1		
先天性風しん症候群	1			
梅毒	1243	12	2	
播種性クリプトコックス症	27			
破傷風	15			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	18			
百日咳	137	3		
風しん	5			
麻しん				
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
* 新型コロナウイルス感染症	128	6		

\* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<侵襲性髄膜炎菌感染症について>

髄膜炎菌は、健康な人でも鼻の奥などにいることがある細菌で、保菌者や患者の飛沫を介して伝播します。国内では髄膜炎菌を保菌している人の割合は少なく、髄膜炎菌による感染症は比較的まれですが、寮などの集団生活する場や国際的なイベントで多くの人が集まる場合には集団感染を起こすことがあり、注意が必要です(表)。

■症状

本症の特徴として、点状出血が眼球結膜、口腔粘膜や皮膚に、また出血斑が体幹や下肢に認められます。敗血症を起こした場合は、発熱、悪寒、虚脱を呈し、重症例では紫斑の出現、ショック症状並びに播種性血管内凝固症候群(DIC)に進展することがあります。髄膜炎を起こすと、頭痛、発熱、髄膜刺激症状のほか、痙攣、意識障害等を呈します。

■治療・予防

抗菌薬による治療を行います。重症化しないためには早期に治療を開始することが重要です。予防接種として、国内では4種類の血清型の髄膜炎菌に対応した4価結合型ワクチンが任意で接種可能です。特に、脾臓の摘出等により免疫機能の低下している方や流行地に渡航する方など、感染リスクの高い方については接種が推奨されています。

表 侵襲性髄膜炎菌感染症の集団感染事例

発生年	都道府県	発生場所・関連イベント
2011年	宮崎県	学生寮
2015年	山口県	世界スカウトジャンボリー
2017年	神奈川県	全寮制学校

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎集団発生の報告が3件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
			利用者(園児、入所者等)	職員	計			
秋田市	かんば保育園	3/22	132名のうち 13名	41名のうち 1名	14名	3/17～3/22	嘔吐、下痢、 発熱	ノロウイルス 検出
横手市	みいりの保育園	3/22	98名のうち 14名	21名のうち 0名	14名	3/19～3/22	嘔吐、下痢、 発熱	
由利本荘市	石脇西保育園	3/26	198名のうち 22名	51名のうち 1名	23名	3/24～3/26	嘔吐、下痢	ノロウイルス 検出



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		